



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日～2021年2月28日にご同意いただいた方で
アルツハイマー型認知症と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

精神疾患の診断に有用な新規手法の開発

【研究責任者】

島田昌一（大阪精神医療センター）

【本研究の目的及び意義】

精神疾患を簡便かつ客観的指標で診断するための新規バイオマーカー開発を行うことを目的とする。具体的には、血液や脳脊髄液検体を利用した微量成分を解析することで精神疾患の評価・診断を行うシステムを開発する。

【本研究に提供する試料・情報】

血液

性別、年齢、診断名、心理検査結果

【研究期間】

2021年2月12日 ～ 2025年12月31日

【試料・情報等扱う機関】

大阪精神医療センター
レナテック(株)

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520 e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)